

学校教育目標			めざす生徒の姿（中期的目標）	総合評価					
『自己を見つめ、友と協力して 明るく逞しく生き抜く生徒』 優しさ(人とつながる) 豊かさ(豊かに学ぶ) 逞しさ(やり遂げる)			生徒一人ひとりの主体性をはぐくむ 自分の人生を自分の力で切り拓いていくために、主体的に「ひと・もの・こと」に関わる生徒						
			今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
			①「優しさ」主体的に他と関わる力を育む						
			②「豊かさ」主体的に学びに向かう力を育む						
			③「逞しさ」主体的に夢や目標に向けて努力する力を育む						
領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
教育活動	① 他と関わる力	四中プライドを築いていく3本柱の充実 「あいさつ」「清掃」「合唱」	「あいさつ」「清掃」「合唱」の三本柱を、生徒が主体的に取り組むことができるよう、機会と場を設け、共に取り組みながら助言している。						
		クリエイティブタイムの運営（生徒による主体的な企画・運営）	生徒会活動、生徒集会、0→1チャレンジ等、生徒が仲間と力を合わせて、また、1人になって、主体的に活動をしていく時間となるよう全職員で支えている。						
		道徳・人権同和教育の充実（自己・他者理解、いじめや差別を許さない集団づくり）	生徒が自分の中にある差別意識に気付いたり、他者のよさを見出したり、思いやりをカタチにしたり、仲間と力を合わせて物事を達成したりしていく実践力を高めていくための指導をしている。						
	② 学びに向かう力	自己評価から自身の学びをコントロールする主体的な学びの喚起	チャイム着席、話を聞く、考えを共有、学習サイクルと学びの振り返りを実践させた授業づくりをしている。						
		教師の授業改善・研修（誰もが学びやすく力を伸ばす授業）	主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善（互いに学び合いながら、広い視野に基づいた思考力・判断力・表現力の育成） 個別最適化と協働的な学びの一体的な充実（一人一台端末の利用、単元内自由進度学習等）						
		四中アカデミー（地域の方を講師とする「放課後・長期休業中の自主学習講座」の開講）	四中アカデミー振り返りテストなど、生徒が自ら課題や目標をもって学びやすい環境を整えている。						
	③ 夢や目標に向けて努力する力	学校や集団への不適応に悩む生徒への支援体制・居場所づくり、校内中間教室・相談室の支援体制の充実	自己を見つめたり仲間と協働したりしながら学ぶことを通して、社会的に自立する力を高めていくよう、寄り添った支援を心掛けている。						
		部活動（粘り強い取り組みと心身の鍛錬、各種大会・文化祭等に向けた積極的な参加、地域移行の推進）	生徒の良さを認めたり、「できた」という実感が得られ、「もっとやってみたい」という意欲を生み出すための支援・評価をしている。						
		特別支援教育の充実・学びのUD化	生徒の情報共有を全職員で行い、教科指導、生徒指導における個別支援に生かしていく。学習場面ではUD化を意識し たわかりやすい授業づくりを心がけ、どの生徒も目標に向けて努力していけるようにする。						
		生徒の主体性を育む学年・学級指導	目指す生徒の主体的な姿を学年ごとに決めだして、その具現に向けた指導をしたり、生徒の自治活動を支えたりしていく。学年が高まるとともに、生徒に任せる場面を多くしている。						
学校運営	④ 開かれた学校づくり	情報発信の充実	学校だよりや学年・学級通信、学校ホームページで学校の情報を地域・保護者に発信している。						
		地域・PTAと共に行う活動の充実	地域との関わりを深めながら、キャリア教育や総合的な学習の時間に外部講師や学ぶ場等の充実を図り、生徒が主体的に経験を積み重ねていけるようにする。						